# 愛媛ダイビングセンター ／ （一社）地方創生機構

## 自然環境と社会・経済の調和を形成し、人々が幸せと感じ暮らせるまち創りへ

LS四国登録年度：2021～

## ■基本情報

| | |
|---|---|
| 本社<br>所在地 | 愛媛県八幡浜市保内町18-8 |
| 事業概要 | 里海･里山創り, 環境保全, 観光振興,<br>ＥＳＤ, 生物多様性, 気候変動適応策 |

## ■SDGsの取組・目標

地域固有の豊かな文化や自然、営みの価値を再認識し、少子高齢化及び人口減少や温暖化による地域社会への影響と、急速に変化する地球環境と地域社会の課題解決をテーマに、これまでの地域づくりの知見と地域の環境教育や活動経験を活かし、地域の人々が幸せと感じながら、いつまでも暮らせるまちづくりを創りあげていくことを目的に活動をしています。

**★こんなパートナーを探しています！**

- 地域課題解決へ向けて取組を行う自治体や団体
- 里海里山創りに取組む団体　・ESDに取組む団体
- 観光振興　・地域振興を目指す自治体

ぜひ、一緒に活動しませんか！

## ■地域のステークホルダーとの連携

### 22年度の取組紹介！

**愛媛ダイビングセンター×八幡浜市立松柏中学校×漁協. 他**

愛媛県環境教育推進事業 指定校 八幡浜市立松柏中学校の総合学習において、脱炭素社会における藻場保全（ブルーカーボンへの取組）へ向けた藻場と生態系の調査の体験型環境学習を実施。「八幡浜市立保内中学校」の総合学習では放置竹林を利用し漁礁を制作、海と山の繋がりを学び、海の環境を考える体験型の環境学習を通じて、次世代の社会の担い手を育む環境教育を実践。八幡浜漁協「初の環境保全推進員制度」の策定を依頼。

2022年2月、より良い地域づくりを目指して(一社)地方創生機構を設立。課題解決に向け、愛媛県や自治体への提案、自治体や地域と連携した事業を行う。

## ■連絡先


担当窓口：中岡（ナカオカ）　TEL：0894-36-3088（携帯転送あり）
URL：http://wwwd.pikara.ne.jp/ehime-dive/　E-Mail：ehime-dive@me.pikara.ne.jp

# 一般社団法人　地方創生機構

## 環境×地域社会を創造

事業案内

Ehime　Japan

# 事業領域

## 地域の課題を解決

### 01 環境保全を図る活動

気候変動適応策および生物多様性関連担い手を育む教育関連、環境教育、講演、セミナー、ほか。

### 02 産業再生

地元産品ブランディング、国内および海外向け販路開拓、飲食店経営、海外投資、事業承継、経営アドバイス全般。

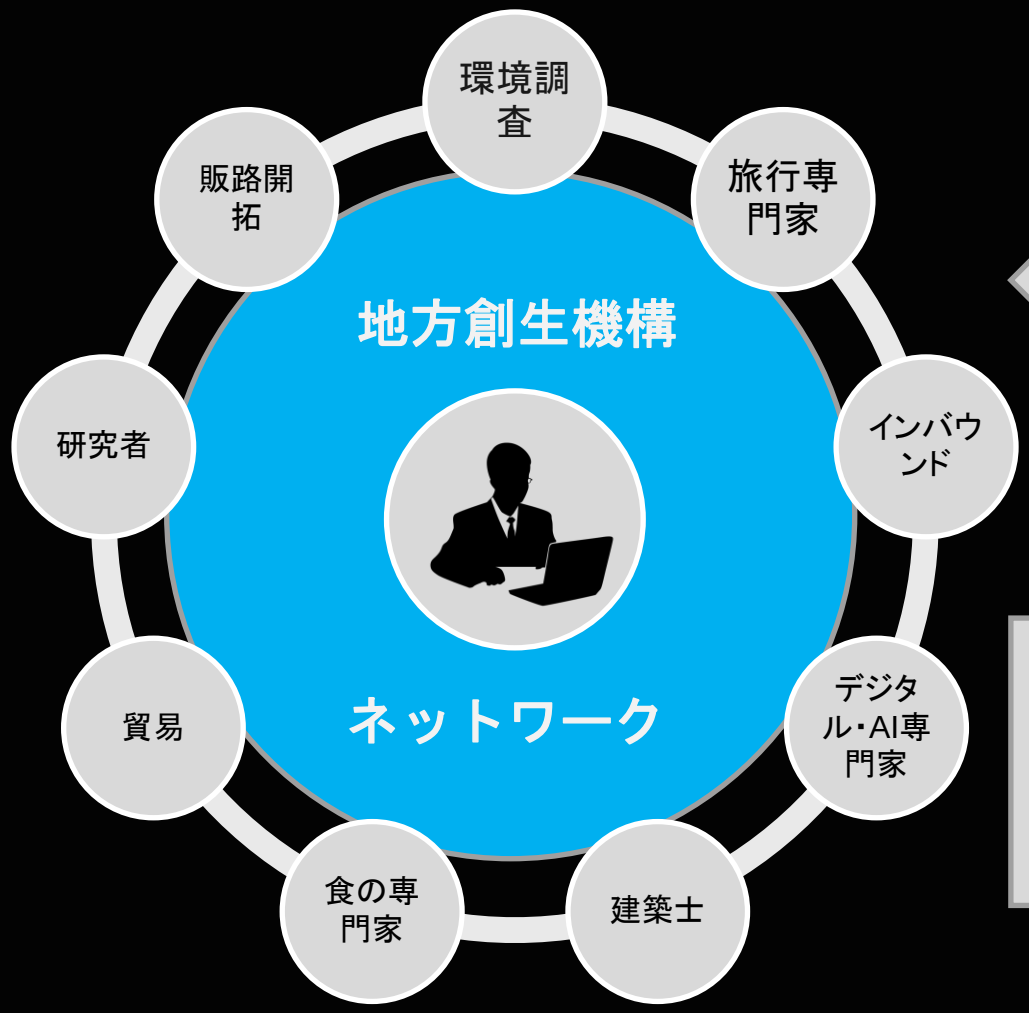
### 03 観光まちづくり

インバウンド、地域資源を活用した観光開発、観光施設再生、DMO、人材育成　ほか。

### 04 暮らしの支援

地域計画策定、移住定住、空き家の活用、高齢者の活用　ほか。

# 課題解決の仕組み



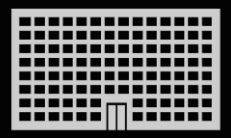

**地域課題を相談**

**解決策を提案**

地域の課題に対して、各分野の専門家をディレクション、地域の課題に現場目線で向き合います

## 地　域

教育機関



地方自治体

企業
(個人事業者含む)

# 主な運営メンバーの実績

環境×地域社会

## 中岡　恵司(Nakaoka Keiji)

海洋の環境活動をテーマに活躍する社会活動家

・第6回 四国環境パートナーシップ表彰 地域課題解決部門[優秀賞]受賞（2021/3/13）
・三浦保環境賞受賞（環境保護活動）（2021/2/18）
・第15回エコツーリズム大賞パートナーシップ賞（2020/5）

## 松本　秀信(Matsumoto　Hidenobu)

DMO、観光開発、インバウンド、地域再生をテーマに活動

・エコツーリズムを中心に世界各地での旅行ビジネスに従事。近年は国内の観光開発、地域運営、人材育成に力を注ぐ。

# 活動実績

## 地域の未来に現場から向き合う

子ども達への環境教育

研究機関と藻場と魚類生態系の調査

環境セミナー

人材教育(観光・地域づくり)

**観光業の発展で地域大きく変化**

前橋

前商高で松本さん授業

次代を担う職業人材育成事業の一環として観光と地域貢献について考える授業が、前橋商業高（高坂和之校長）で行われた。グローバル観光戦略研究所代表の松本秀信さんが2年のビジネス総合科79人に、観光業が発展すると地域がどう変わるかや、上野村の実践事例を教えた＝写真。

松本さんは日本は自然に恵まれ、観光業に適した国と指摘。「観光に関わる情報を分析し、物事を客観的に判断できる人材が社会で求められる」と話した。

田畑悠樹さん(16)は「観光業の発展で地域が大きく変わることを知って驚いた。将来を決める参考になった」と話した。

観光戦略セミナー

地域文化とまちづくり(上)

学生への観光教育(左)

環境問題(右)

愛媛新聞

**環境問題解決へ**

**5団体活動発表**

松山で四国表彰

環境に関する地域課題の解決を目指して活動する団体や取り組みなどの情報を幅広く発信しようと、環境省設置の四国環境パートナーシップオフィス（四国EPO、高松市）による表彰式が13日、松山市であった。最終審査に残った四国の5団体が個性豊かな事例を披露した。

6回目となる今年の四国環境パートナーシップ表彰には、国連が掲げる貧困や不平等の解消といった17分野の「持続可能な開発目標（SDGs）」などの概念を取り入れた地域課題解決部門と、持続可能な開発のための教育（ESD）を踏まえた人材育成部門に計17団体から応募があった。波及効果や持続性、将来展望などの観点から審査した。

愛媛での表彰式開催は初めてで、5団体がそれぞれ取り組みを発表。NPO法人「スペースゆう」ともの会（宇和島市）は色鮮やかなヒオウギガイを使った「貝絵アート」の展開や、学校などとの連携を紹介した。愛媛ダイビングセンター（八幡浜市）は、ダイバーらが顧客の前で海のごみを拾い、環境の変化を伝えることで保全意識を高めているとした。

審査の結果、広葉樹のまきを活用し障害者の就労支援などにつなげている「想愛」（高知県）が大賞に輝いた。日本キリバス協会のケンタロ・オノ代表理事による基調講演もあった。

（和田亮）

SDGs
(観光/グラミン銀行協力)

# 一般社団法人地方創生機構


八幡浜OFFICE

愛媛県八幡浜市保内町須川18-8
愛媛ダイビングセンター内

問い合わせ

https://region.jpn.org/

0894-36-3088　(携帯電話転送あり)

info@gtssij.org